

講義科目名称： 特別活動論

授業コード： 51803700

英文科目名称： Special Activism

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	3	1	選択
担当教員			
新居 琴			
金2			
添付ファイル			

科目の概要	特別活動の指導のあり方を考察していくため、社会的背景や教育政策との関連をふまえて、子どもたちが現実を切り開いていく力をつける特別活動の今日的課題を明らかにしていく。 さらに、特別活動における具体的指導のあり方について、実践記録を共同で分析したり、ワークショップで体験的に学ぶことを通して、特別活動の指導原理の理論的・実践的な認識を深める。
授業の内容	第1回 特別活動とは・オリエンテーション(授業の進め方・成績評価・集団づくりの3側面など) 課題：シラバスを読んでくる 第2回 現代の子どもをめぐる状況と課題（現代の子どもをめぐる状況と課題を学ぶ） 課題：現代の子どもたちの生きづらさを考えて、付箋に書いてくる 第3回 子どもたちの居場所と出番（テキスト 第1章 集団づくりの初期指導について学ぶ） 課題：テキスト第1章を読んで、付箋に書き出してくる 第4回 訓育と陶冶（テキスト 第2章 特別活動と教科指導の関係を学ぶ） 課題：テキスト第2章を読んで、付箋に書き出してくる 第5回 発達課題のある子とともに（テキスト第3章 困っている子も生きやすい指導の工夫を学ぶ） 課題：テキスト第3章を読んでくる 第6回 学校行事で育てる力（「みんなで跳んだ」を見て、生徒が学んだことや教師の指導法を学ぶ）保護者と手を結ぶ（：テキスト 第4章 保護者と手をむすぶ視点・方法を学ぶ） 課題：テキスト第4章を読んでくる 第7回 私ならどう指導するか（学校で起こった小さな事件を読みとき、指導法を考え、発表する） 課題：レポートの仕上げの準備 第8回 特別活動論まとめ （まとめとレポート作成）
学習到達目標	(1)子どもたちの生きる現実を読み解き、教育実践の課題を理解し、説明することができる。 (2)特別活動の目標と内容を理解し、説明できる。 (3)特別活動の具体的な実践の視点や方法を述べることができる。 (4)授業で取り上げた課題について、自分の意見を主体的に述べることができる。
授業の方法	講義を中心に、グループワークを行い、ディスカッションを行う。 毎時間、講義終了後に、ミニレポートを作成する。
成績評価の方法	授業の参加状況（30%）・・・自分の役割・意見表明・講義に集中すること。携帯を使用しないこと。 課題（10%）・・・課題(宿題) レポート（60%）・・・おもに授業内で行う。
教科書・テキスト	・新居琴 「1年生の担任になったら」 高文研 2012 ISBN978-4-87498-487-1C0037 ・小学校学習指導要領 「特別活動」編 文部科学省 ・その他は資料を配布する
参考書	・授業中に指示する。
授業時間外の学修について（事前・事後学習について）	・講義時間内だけでなく、積極的に自学自習に取り組むこと。 ・授業内で出された課題は、次回の予習や復習のためのものなので、必ず行うこと。 ・授業をやむを得ず欠席した場合でも、自修や課題を行うこと。（課題はシラバスに記載）
履修上の留意事項	飲み物可・講義中の食事は禁止。携帯はOFFかマナーモード。（操作は指示のある時のみ） トイレなどで教室を離れるときは、携帯を置いて出ること。 遅刻・早退・欠席・授業態度などについての注意は、学生間で行うこと。
オフィスアワー	授業終了前後に教室で。MLの活用。
実務経験	大阪府公立小学校教諭（支援学級・病虚弱学級経験あり）
その他	なし